



★当日最大は4キロオーバー



▲トップは9本  
◀ベテランはさすがの腕前で数をのぼした



▲海面から35~38メートルのタナを狙った  
▶通常仕掛けはハリス6~8号6メートルだが、入れ食いなら10~12号4.5メートルでもいい  
▼今後さらなるサイズアップに期待しよう



▲マダイも上がった

ズンは群れが多く、この勢いなら年内一杯は期待できるとのこと。  
指示タナなどの基本さえ守っていれば高確率でヒットするコマセ釣りのワラサは、青物入門にもうってつけのターゲット。このチャンスにぜひともワラサのトルクフルな引きを味わってほしい。  
(詳細は52ページ参照)



●南伊豆下田須崎港・大黒屋 土屋 裕司船長



▲釣り場にワラサ狙いの船が集結



▲目下のポイントは文字どおり白い砂浜が広がる白浜海水浴場の沖合



▲東の空に日の出を望む早朝の1時間がゴールデンタイム



▲タモ取りは船長が駆けつけるが、間に合わないときは隣同士でサポートを

# 南伊豆のワラサ急上昇!

南伊豆下田須崎港出船 撮影・訓覇啓雄

★コマセを振ってタナを取れば、すかさず竿がキューンと曲がる入れ食いモード



★3~4キロ級がアベレージ。40リットル級のクーラーが4~5本で満タンになる